

学びの部屋 ～1年生～「保育園交流」「6年生を送る会にむけて」

2月6日に芝保育園、芝公園保育園との交流会がありました。1年生は園児とペアになって学校案内をしたり教室で1年生体験をさせたりしました。「本が好きだから図書館を案内して絵本を読んであげたい」「算数セットを見せてあげたい」「どこに行きたいか聞いてあげるのもいいな」と自分で計画立てて行いました。園児と手を繋いで優しく声を掛けながら活動する1年生の姿は微笑ましかったです。園児のみんなからお兄さん、お姉さんと呼ばれて「いよいよ4月からは2年生になるんだ」という気持ちを高めました。

賞松里津子



先日行われた6年生を送る会に向け、1年生は出し物の練習に取り組んできました。国際科発表会で題材にした「ねこのピート～だいすきなしろいくつ～」を送る会バージョンにして披露しました。大好きな6年生に喜んでもらえるように、振り付けを出し合うなどして工夫を重ね、一生懸命練習しました。また、当日の朝には折り紙で作ったメダルをプレゼントしました。このメダルを折るために何時間もかけて取り組む子もいました。

この送る会に向けての活動でも教え合い、工夫する大切さを学ぶことができました。

土田 順子



学びの部屋 ～4年生～「二分の一成人式」「東京染小紋体験」

2月2日（土）に二分の一成人式がありました。子供たちは、式に向けて自分の成長をふり返って保護者や地域の方々などに感謝の気持ちをもったり、将来の夢や就きたい仕事などを考えたりしました。

当日は多くの保護者の方々の御参観の下で式を行うことができました。式の中では、子供たちはステージから一人一人将来の夢について発表したり、呼びかけや歌で感謝の気持ちを伝えたりしました。また、「手紙の交換」を通して家族と家族の交流の時間を過ごしていただきました。御家族と語らう時間を過ごしていただいたことが、とても嬉しかったです。

石嶋 賢



2月19日（火）に社会科「染め物のまち新宿区」の学習で東京染小紋体験をしました。東京染小紋は、伝統的な技術で作られる染め物です。5種類の模様から一つを選び、紺色の生地の上に型紙を置いて、へらで金色の染料が入ったのりを塗っていききました。初めの半分は染め物職人の根橋秀治さんと、残り半分を児童一人で塗っていききました。仕上げに職人の根橋さんが丁寧にのりをへらでならしてくれ、その手つきに「おお、すごい滑らかに動いている」「職人技だ」と児童から歓声が上がりました。最後に型紙を持ち上げ、金色に輝く模様が出てくると、「わあ」と言ってみな笑顔になっていました。とても貴重な体験となりました。

齋藤 文子



なかよし班活動について

特別活動部 なかよし班担当 石井 ゆきこ

芝小学校には、全校児童380名を14の縦割りグループに分けて交流するなかよし班活動があります。月1回程度、全学年の児童が学級を超えて一緒に遊んだり、ゲーム集会や地域清掃を行ったりしています。これまでは6年生がリーダーになって各班の活動を計画してきましたが、今年度からなかよし班委員会が立ち上がり、6年生と共に5年生もリーダーとして関わるようになりました。みんなが一緒に楽しめる遊びを工夫しています。

先日、行われた6年生を送る会では、様々な学年から「なかよし班で楽しい遊びを計画してくれて、ありがとう」という声が聞かれました。中休みや昼休みの校庭では異学年の男女と一緒に遊ぶ姿が見られます。芝小の子供たちの仲のよさは、なかよし班活動から生まれているのかもしれない。

